

令和4年度 学校評価アンケート集計結果（抜粋）

今年度の「学校評価アンケート」の集計結果と分析がまとまりましたのでご報告いたします。
 なお、全項目の発表は本校HP上に掲載いたします。

★黒南高HPアドレス
 URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/kuroisominami/>

<評価人数（回収率）>

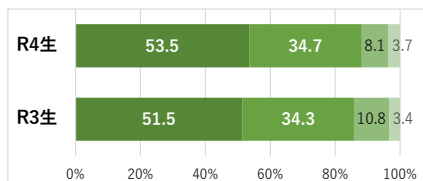
	1年	2年	3年	全体
生徒	153(96.8)	156(97.5)	159(100)	468(97.5)
保護者	145(91.8)	110(68.8)	143(89.9)	398(82.9)
教職員				30(76.9)

<凡例>

1. よくあてはまる
2. ややあてはまる
3. あまりあてはまらない
4. 全く当てはまらない

<生徒への質問>

1. 私は黒南高に入学してよかった。



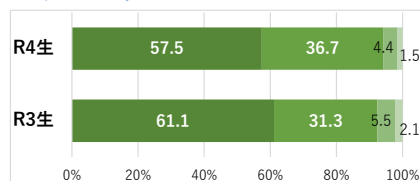
8割近い生徒が肯定的な回答をしているのは大変喜ばしいことである。一方、2割弱の「よかった」と評価できていない生徒のために、今後は学校生活に満足できるよう魅力ある学校生活を提供できるよう心掛けたい。

2. 私は、学習に意欲的に取り組んでいる。



昨年度と比べ「よくあてはまる」「ややあてはまる」が+0.8%、7割の生徒が学習に意欲的に取り組もうとしている。一方で、全体の4分の1の生徒は学習に意欲的でないことから学習意欲の二極化が懸念される。進路実現に際して学力がネックとなるケースも増えており、基礎学力の定着のための意欲的な取り組みや、「何のために学ぶのか」その学びの目的を、授業やホームルーム活動、学校行事など各場面で考えさせていきたい。

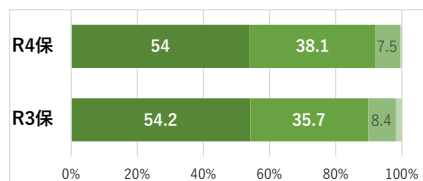
3. 私は学校生活（学校行事・部活動）に積極的に取り組んでいる。



「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が9割以上であるのはここ数年の傾向ではあるが、それが昨年度と比べ+1.8%となり、結果として「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」がやや減となっている。コロナ感染症による学校行事や部活動の制限が少し緩和された影響があると考えられる。今後も、生徒達が学校生活の充実に向け積極的に取り組む姿勢を支援していきたい。

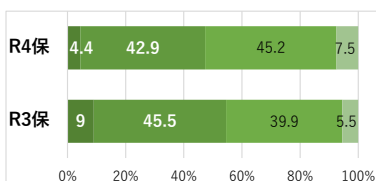
<保護者への質問>

4. 私は、自分の子供を黒南高に入学させてよかった。



9割に近い保護者が本校に入学させて良かったと回答している。今後も本校の教育活動や教育理念を理解していただき、満足していただけるよう努めていきたい。

5. 私は、黒南高のPTA活動に関心がある。

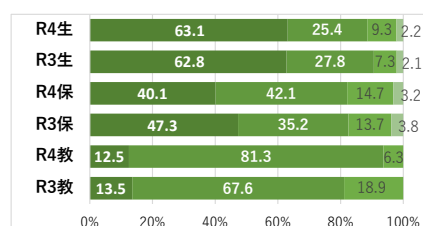


今年度は肯定的回答が過半数を割り込んでしまった。昨年度に続いて今年度もPTA活動に中止や制限が加わるが多かった。PTAの活動について、この結果が本校に限ったものなのか、全国的にみられる傾向なのかを注意深く見ていく必要がある。しかし、

保護者の立場として積極的に関わりたいという強い思いがあることも事実であり、その思いをしっかりと受け止めた上で、今後の活動を考える必要がある。

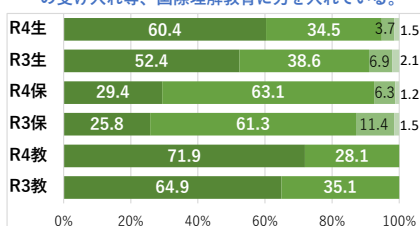
<生徒・保護者・教職員への質問(共通)>

6. 黒南高は、真剣な学習態度の育成に努めている。



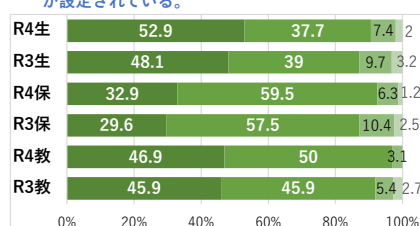
「真剣な学習態度」を身につけるために努力していると認識している割合は80%を超えている。しかし、あてはまらないと感じている生徒・保護者・教職員も昨年同様一定数存在している。生徒に対しては引き続き「真剣な学習態度」を強く認識させ、実感できるだけの成果をあげていく方策を実践していくべきであろう。

7. 黒南高は、外部講師の講演・海外研修・留学生の受け入れ等、国際理解教育に力を入れている。



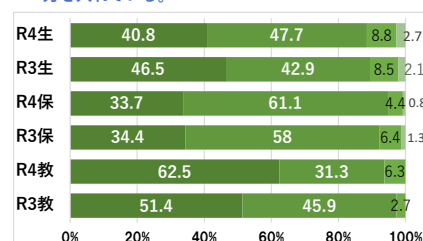
昨年同様、否定的な回答が若干増えた。新型コロナウイルス感染症の影響による海外研修や留学生受け入れ等の断念がアンケート結果に反映されたものと思われる。一方、教職員においては「よくあてはまる」という意見が大きく増加しており、生徒・保護者との感じ方の差をどのように埋めていくかが課題である。

8. 黒南高は生徒の進路希望にあったコースや科目が設定されている。



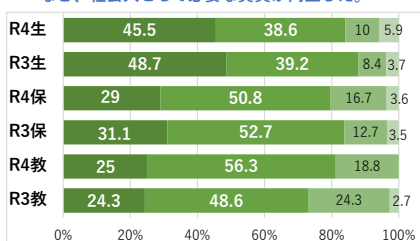
生徒、保護者は昨年度と変わらず肯定的な回答が多い。総合学科に対する生徒、保護者への理解を早期のうちに進めていくことによって、生徒の進路希望を実現させるための科目選択の重要性を理解し、高校生活の充実、さらには進路決定に繋がると思われる。今後、科目設定・科目選択の取り組みをさらに充実させていく必要がある。

9. 黒南高は、多くの進路情報を提供し、進路指導に力を入れている。



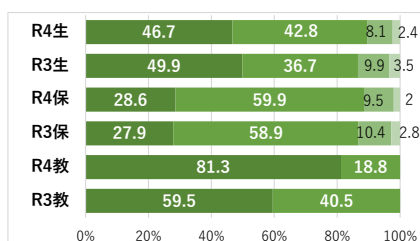
昨年に引き続き、肯定的な回答が増加している。新型コロナウイルス感染症対策として手指消毒や施設消毒等を継続して行っているため、公衆衛生への意識が高まっていることが反映されていると思われる。

10. 黒南高に入学してから、言葉遣いや礼儀・マナーなど、社会人として必要な資質が向上した。



昨年と比較して、生徒・保護者の「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が少し減少した。それに対して、教職員は増加している。適切な指導を心がけていければ良いのではないだろうか。

11. 黒南高は、部活動が盛んである。



保護者は否定的な意見が増加しており、教職員の回答とのギャップが目立つ。一方で、生徒は9割が肯定的な回答をしている。引き続き、生徒たち自身が部活動にやりがいを感じられるよう、充実した活動に努めていきたい。